

## 2022年度第2回経営協議会議事要旨

- 日 時 2022年8月8日（月） 15:00～15:45
- 場 所 Zoomによるオンライン会議
- 出席者 田中 雄二郎学長、  
氏家 純一委員（学外委員）、遠藤 信博委員（学外委員）、  
河村 潤子委員（学外委員）、福田 誠委員（学外委員）、  
佛淵 孝夫委員（学外委員）、山口 武兼委員（学外委員）、  
廣川 和憲委員（理事・CFO）、  
大川 淳委員（医療担当理事）、  
古川 哲史委員（研究・改革担当理事）、  
若林 則幸委員（教育担当理事）、  
東條 有伸委員（連携・データサイエンス・教員人事担当理事）、  
今村 聡子委員（事務総括・男女共同参画・障害者雇用担当理事）
- 陪席者 鐘江 康一郎理事（IT化・業務改善担当）、藤谷 茂樹監事、  
森尾 友宏執行役、新田 浩主席副病院長、  
永田 昭浩総務部長、坂本 貴財務部長、  
福手 孝人施設部長、横山 直樹統合教機構事務部長、  
藤谷 浩至統合国際機構事務部長、秋葉 泰樹病院事務部長、  
坂下 鈴鹿統合研究機構事務部長、高砂 健介病院事務部次長  
白谷 正洋戦略企画課長
- 欠席者 瀬下 明学長特別顧問、宮崎 隆委員（学外委員）、  
山口 寿一委員（学外委員）

### ○ 審議事項

#### 1 今後の大学運営について

田中学長から、国立大学法人東京工業大学との統合に向けた協議を開始することについて、資料1-1及び資料1-2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、遠藤委員から、統合に向けた協議を進める際にはスピード感が重要であり、世界も同じ速さで動いていることを意識して、場合によっては最終形を待たずに成果を出していく努力も必要である旨の発言があった。

さらに遠藤委員から、同じ社内でもサイロができてしまい、価値創造のレベルを上げる際の壁が高いことがあるため、統合に向けた議論にあたり、2つの違う組織が一緒になって大きな価値を創造するためには、より高いビジョンを描くことが重要であり、新大学の名称はそれを意識できる名称であることが望ましい旨の発言があった。

河村委員から、統合に向けた協議により新しいサイエンスを産み出して社会貢献への見取り図ができることを期待するとともに、研究のみならず教育についても両校の強みを発揮することで学生に還元をしていただきたい旨の発言があった。

福田委員から、両校の掲げる理念の下、統合によりお互いが強くなり、統合後のイメージが見えるよう十分に議論を尽くしていただきたい旨の発言があった。

氏家委員から、医歯学と理工学が融合し、そこにリベラルアーツも融合することで、世界に伍した大学になると思われるので、あとは組織を1つにするにあたり、構成員の心を同じ方向に向けられるように努力していただきたい旨の発言があった。この発言を受けて、田中学長より、学内説明会を実施して、丁寧に説明した上で議論していきたい旨の発言があった。

さらに、氏家委員から、メディアに対する発表方法について質問があった。この質問を受けて、田中学長から、文書で統合に向けた協議を開始する旨を発表する旨の説明があった。

佛淵委員から、統合にあたり可能なところから随時連携を行って成果を出すことで、学内的な理解が得られやすくなるとともに、社会に向けた発信もできるのではないかとの意見があった。また、相手を尊敬し、真摯に謙虚に進めた方が良いとの意見があった。

山口武兼委員から、それぞれの大学で文化が違うと思うので、両大学のビジョンを共有し、ビジョンを中心に文化を融合していく必要がある旨の意見があった。

さらに、山口武兼委員から、今後の四大学連合の枠組みについて質問があった。この質問を受けて、田中学長から、四大学連合の枠組みは引き続き活用して、連携を深めていきたい旨の発言があった。

(以上)